

リチャード・セビル
執行役会長

高純度アルミニウム（HPA）の世界的リーダーを目指すカナダのアドバンスド・エナジー・ミネラルズ（AEM）が、日本での事業展開を本格化する。東京への現地法人を設立を完了し、近くサービス提供を開始する。半導体やLED、バッテリー市場での成長を見据えた拡張計画を進める。最大の消費地であるアジアの中でも、多様な需要産業が集積する日本をとくに重視し、カナダを除く最大の拠点と位置付ける。

AEMはカナダのケベック州でHPAを生産している。高純度化ニーズは年々高まり、同社は4N（99.99%）や5N（99.999%）の超高純度品を提供することで競争

力を強化している。再生資源を開発しており、生産能力を年間3000tにまで引き上げる。3月に試運転を開始する。さら

に半導体分野では、化学機械研磨（CMP）や熱管理用途のほか、次世代技術であるシリコンカーバイドウエハーのガラス基板化にも注目してい

る。アジアの中でも、日本は幅広いハイテク産業が集積する重要な市場。

物理的な拠点を持つことで日本市場でのプレゼンスを高め、顧客との関係を一層強化する。ここから韓国市場も管轄し、アジア地域全体の事業成長

が支えていく。

AEMのリチャード・セビル執行役会長は、「当

社は日本市場に新たに参

入した企業だが、顧客のニーズを第一に考え、常に高品質な製品を安定し

て供給する信頼できるパ

ートナーでありたい」と

し、「短期的な取引にとど

まらず、顧客との長期的

な協力関係を築き、とも

に成長することを目指し

ている」と、日本での事

業展開に意欲を示してい

る。

日本市場に本格参入

現法設立 半導体・電池などの的

するなかで、AEMはとにかく日本、韓国、台湾、中国の市場を優先し、半導体、LED、バッテリー、先端セラミックスに照準を定めている。とく

に半導体分野では、化学機械研磨（CMP）や熱管理用途のほか、次世代技術であるシリコンカーバイドウエハーのガラス基板化にも注目してい

る。アジアの中でも、日本は幅広いハイテク産業が集積する重要な市場。

AEMのリチャード・セビル執行役会長は、「当

社は日本市場に新たに参

入した企業だが、顧客のニーズを第一に考え、常に高品質な製品を安定し

て供給する信頼できるパ

ートナーでありたい」と

し、「短期的な取引にとど

まらず、顧客との長期的

な協力関係を築き、とも

に成長することを目指し

ている」と、日本での事

業展開に意欲を示してい

る。